

日本ベンチャーキャピタル株式会社

～けいはんなATRファンドによるベンチャー投資～

概要

日本ベンチャーキャピタルは、自らベンチャー企業を興し、現在、各分野で成功を収めている事業者や、ベンチャー支援に熱意を持つ大手企業などが結集し、支援型の本格的なベンチャーキャピタルを目指して1996年に設立されました。以来「アーリーステージ」と「技術型ベンチャー」に重点的に投資しています。

けいはんなATRファンドについて

「けいはんなATRファンド」は、ATRにある研究シーズや成果の発掘と事業化等を支援し、日本の技術を具現化・市場化して企業の成長ならびに世界の人々のQoL(生活の質)向上に貢献するために2015年2月に設立されました。

ATRの知財・ノウハウを使い連携するベンチャー企業に対し、これまで**15社**に投資をいたしました。

ファンド総額 47億円

ファンド期間 2015年2月～2024年6月

ファンド出資者 INCJ, ATR, オムロンベンチャーズ、
京都銀行、KDDI、構造計画研究所、
サンコール、新生銀行、住友電気工業ほか

オープンハウス出展投資先

ブルーイノベーション株式会社(ドローン)
ユカイ工学株式会社(ロボット)
スプリームシステム株式会社(位置計測)
WaveArrays株式会社(フェイズドアレイアンテナ)
スマートスキャン株式会社(脳ドック)
TVISION INSIGHTS株式会社(アテンション測定)
いちから株式会社(VTuber)

各社の展示をぜひご覧ください

直近の新規投資先のご紹介

TVISION INSIGHTS株式会社

TVISION
INSIGHTS



人体認識技術を用いた「視聴質」の計測やビッグ・データとしての活用を手掛けるTVISIONとインタラクション技術を有するATRが、「視聴質」計測の高度化に向けてコラボレーションすることによる新たな付加価値創造に期待して、TVISIONへ出資いたしました。

いちから株式会社



VTuberサービスのリーディングカンパニーであるいちからとインタラクション技術を有するATRが、現在の視覚と聴覚を中心としたVTuberのユーザーインターフェースから、触覚も加えたマルチモダリティによるユーザーインタラクション化技術の活用などについてコラボレーションすることによる新たな付加価値創出に期待して、この度いちからへ出資いたしました。